

宮城県社会資本再生・復興計画 第3次アクションプラン(概要版)

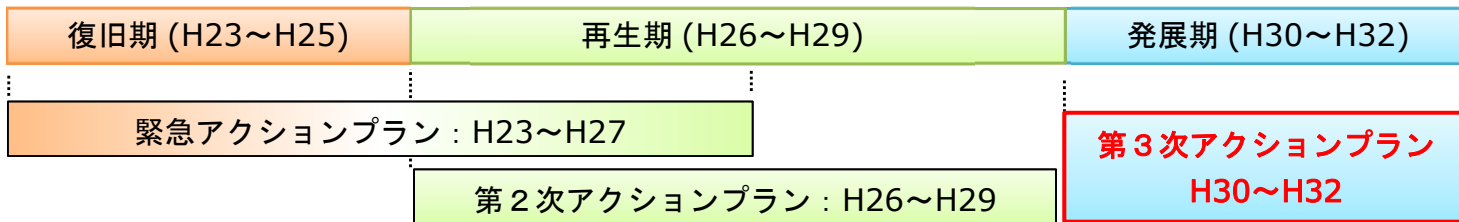
【アクションプランの概要】 ※「アクションプラン」＝「宮城県社会資本再生・復興計画」の行動計画

- 「緊急アクションプラン」(平成23年度～平成27年度) <平成24年3月策定>
 - ・取組方針:被災した公共土木施設やライフラインの一日も早い復旧
 - ・平成27年度までの復旧・復興に向けて実施する事業の整備目標
- 「第2次アクションプラン」(平成26年度～平成29年度) <平成26年3月改訂>
 - ・取組方針:新しいまちづくりと併せた県土骨格インフラの整備推進と一層災害に強い県土づくり
 - ・復旧・復興の進捗や社会情勢の動きを踏まえ、新たなプロジェクトや課題に対応
- 「第3次アクションプラン」(平成30年度～平成32年度) <平成30年3月策定>
 - ・取組方針:震災前を超えて、我が国をリードする先進的な防災・減災機能を備えた県土づくり
 - ・「宮城県社会資本再生・復興計画」の集大成
 - ・復興まちづくり及び災害復旧事業の完成、創造的復興に向けた取組の推進

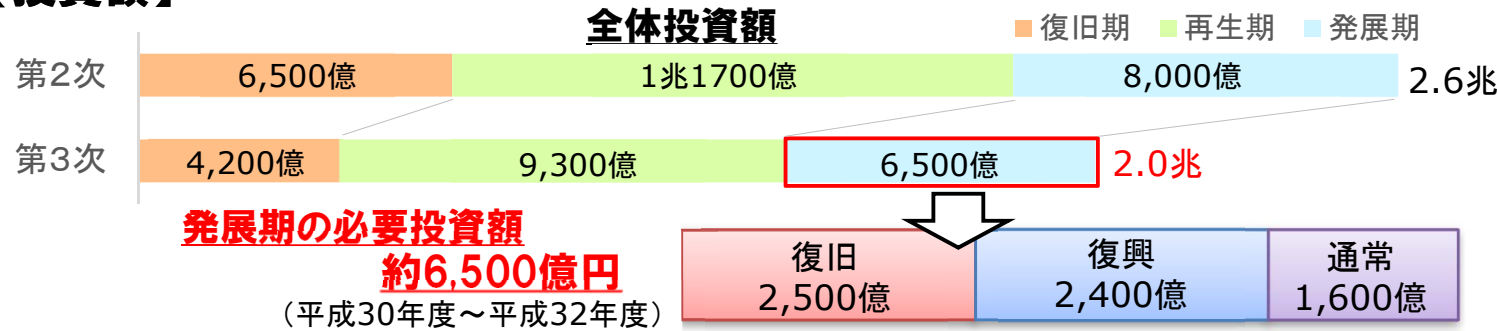
【発展期における取組施策のポイント】

- 「災害に強いまちづくり宮城モデルの構築」【基本目標 1, 2】
 - ・先進的な防災・減災機能を備えた、壊滅的な被災を回避する粘り強い県土構造への転換
 - ・復興まちづくり、災害復旧事業の完成・総合的な治水対策・土砂災害防止対策の推進
- 創造的な復興に向けた取組みの推進【基本目標 2, 3】
 - ・宮城県広域防災拠点の整備や民営化した仙台空港の利用促進・交流人口拡大、産業活性化に向けた取組み
- 今後想定される様々な課題に対応する県土づくり【基本目標 1, 2, 3】
 - ・加速化するインフラの老朽化、気象変動に伴う災害リスクの増加、急激に進行する高齢化・人口減少社会への対応
 - ・地域住民と連携した生活密着型の社会資本整備

【対象期間】→平成30年度～平成32年度(3箇年)



【投資額】



【主要プロジェクト】

主要プロジェクト	再生期(H29年度)までの実績	発展期の目標
(1) 緊急施設復旧(災害復旧事業)プロジェクト	・公共土木施設全体2,297箇所のうち2,088箇所完成(全体の約91%)	○東日本大震災関連災害復旧事業を全て完了
(2) 大津波対策プロジェクト	・レベル1津波に対応した河川・海岸施設の135箇所に着手,38箇所完了 ・復興道路事業の39箇所に着手,11箇所完了 ・津波浸水表示板の設置(295箇所) ・被災建築物応急危険度判定士登録 2,205名 ・被災宅地危険度判定士登録 863名	○レベル1津波に対応した河川、海岸、港湾施設整備を全て完了 ○復興道路事業の全箇所完成 ○広域防災拠点(宮城野原公園)の整備推進 ○震災復興祈念公園(石巻市南浜地区)の整備完了 ○「3.11伝承・減災プロジェクト」の推進
(3) 復興まちづくり支援プロジェクト	・沿岸市町の「復興まちづくり計画」策定支援 ・住宅等建築工事可能被災市街地復興土地区画整理事業 全35地区のうち34地区 ・防災集団移転促進事業 全195地区のうち194地区 ・津波復興拠点整備事業 全12地区	○沿岸市町の復興まちづくり事業の全ての地区で住宅等建築工事可能 ○新市街地を接続し復興まちづくりを支援する道路整備完了 ○復興の進展に伴って発生する新たな課題に対し、沿岸市町を継続支援
(4) 住宅復興プロジェクト	・災害公営住宅 16,067戸のうち15,415戸が完成(うち県受託分2,229戸の全戸完成) ・二重ローン対策 900戸に支援 ・木造住宅等の耐震対策 耐震診断 4,251件の助成 耐震改修 1,168件の助成	○災害公営住宅の全戸完成(H30年度) ○住宅再建の継続支援(二重ローン対策など) ○木造住宅等の耐震化率95%達成に向けた普及・啓発活動の継続
(5) 地盤沈下総合対策プロジェクト	・弘川ダム、長沼ダム完成、大倉ダム堰堤改良完了 ・川内沢ダム事業着手、漆沢ダム等で堰堤改良着手 ・「災害に強い川づくり緊急事業アクションプラン」に基づく、河道断面確保、堤防強化 ・床上浸水対策事業に着手(大江川、吉田川) ・土砂災害危険箇所の基礎調査 全8,482箇所のうち6,284箇所調査完了	○「災害に強い川づくり緊急事業アクションプラン」に基づくハード・ソフト一体となった総合治水対策 ○床上浸水対策事業の推進 ○川内沢ダムの整備推進 ○土砂災害危険箇所の基礎調査 全箇所完了 ○土砂災害警戒区域等の指定推進
(6) 防災道路ネットワーク整備プロジェクト	・三陸縦貫自動車道 県内全区間事業化,4車線化事業完了 ・常磐自動車道の全線開通,4車線化事業着手 ・みやぎ東北高速幹線道路などの整備推進 ・(主)古川松山線(志田橋)、(国)346号(本吉バイパス)等の供用、(国)347号の通常通行化 ・離半島部の道路整備の推進(大島架橋等) ・主要な幹線道路上の橋梁の耐震化の推進	○ラダー型防災道路ネットワークの構築 ○みやぎ東北高速幹線道路 II期、III期、IV期区間の供用 ○大島架橋事業の完成 ○復興関連防災道路の整備推進 ○橋梁耐震化、長寿命化の推進
(7) 港湾・空港復興プロジェクト	・仙台塩釜港、石巻港及び松島港の三港一体化 ・高松2号岸壁整備完了、高砂3号岸壁整備着手 ・仙台塩釜港コンテナ貨物: 25万6千TEU(H29:過去最高) ・仙台港背後地の換地処分完了 ・仙台空港民営化(平成28年7月:国管理空港第1号) ・中坪・荷揚場地区の基盤整備完了 ・仙台空港乗降客数337万人(H29:過去最高)	(港湾) ○港湾利用拡大を見据えた港湾施設整備推進 ○外航クルーズ船受入環境整備推進 (空港) ○空港利便性の向上と拠点化の推進 ○周辺環境、二次交通の充実・強化

【宮城県社会資本再生・復興計画の施策体系】

